

第9回

よみがえれ！トキ

「文弥人形」

上演会

参加者全員
プレゼント

『トキを育むお米』
生産者
出演者のみなさんが育てた
『トキを育むお米』
3合(450g)を
プレゼント



3月4日(日)

受付開始:12時30分
開演:13時30分(15時終了予定)
会場:四谷ひろば講堂(東京おもちゃ美術館1階)
東京メトロ丸の内線「四谷三丁目駅」
2番出口より徒歩5分
入場料:500円(東京おもちゃ美術館の
入場料割り引き券販売有り)

※会場には暖房器具がありませんので、暖かい服装でご参加下さい。
※座席は先着のため、参加者数によっては立ち見となる場合があります。※写真はイメージです。

主催:よみがえれ！トキ 文弥人形上演会実行委員会

お問い合わせ・お申し込み 参加希望の方は事前に下記までお問い合わせの上お申し込み下さい。

よみがえれ！トキ 文弥人形上演会実行委員会事務局(パルシステム連合会 交流政策課)

TEL 03-6233-7207(月~金10:00~17:00) メール bunyaningyo@pal.or.jp

pal*system



「ドーン」足の踏み込み音や
息遣いまで感じられる舞台



公演後のミニ交流会。
人形に触れることも



佐渡の棚田風景



演目

●祝いの舞
春駒

●文弥人形
近松門左衛門作
「阿古屋ヶ庵の場」
「清水寺合戦の場」
「清世景清より」

野生のトキが最後まで棲んでいた
佐渡島東部、野浦・片野尾地区。
日本海が山にせまり、
棚田がつらなる小さな集落で、
『トキを育むお米』の栽培に取り組む
生産者によって受け継がれている
重要無形民俗文化財「文弥人形」。
佐渡に伝わるこの伝統の人形芝居を
今年もお楽しみください。



よみがえれ！トキ文弥人形上演会

四つのテーマ

- ◆産直を通して、地域社会や環境を守る運動を広げていきます。
- ◆有機農業、環境保全型農業を進めていきます。
- ◆伝統芸能を通じて、都市と農村の文化交流を進めていきます。
- ◆作る人、食べる人、すべての人が協力していきます。

いまトキは？

佐渡島の野浦・片野尾地区は、日本最後の野生のトキが生息している場所です。2008年の放鳥以来、現在もトキの放鳥・野生化への活動が続き、いまでは生息数は181羽を超えていました（2017年10月

26日現在）。この成果は、行政や研究者の努力はもとより、「トキと人が共に暮らせる環境を取り戻そう」と環境保全型の農業に取り組む生産者の協力が大きな鍵となりました。



『トキを育むお米』とは？



佐渡島の東側に位置する野浦・片野尾地区で栽培されているお米です。パルシステムと産直提携を結び、行政やNPO法人などとも連携しながら棚田を再生し、トキの餌となる生きものを育むための池（ビオトープ）も維持。「トキも人も住みやすい」環境保全型の農業を実践し、自然との共生のなかで育てられています。



ココが見どころ

文楽や歌舞伎とは異なるアレンジがなされる文弥人形のストーリー。あっと驚かせる展開に目が離せません。「義理」と「人情」、はたまた「不条理」の世界をお楽しみあれ！

景清は日頃より信仰する清水寺を参詣し、宿坊の同宿者たちが遊び双六（すごろく）に助言をしているところへ、伊庭十蔵の訴えによる源氏の追手がやってきて窮地に陥りますが、なんとか難を逃れます。

清水寺合戦の場

源氏の重臣を打ち損じ、京へ逃げ延びた平景清（悪七兵衛景清）は、彼の二人の息子を生んだ遊女、阿古屋の家を訪ねます。阿古屋は兄、伊庭十蔵（いばのじゅうぞう）から「景清の居場所を密告し恩賞を貰おう」と持かけられても拒んでいましたが、景清の本妻・小野姫が景清に宛てた手紙を見て兄に見せられ、嫉妬心にかられ兄の密告を容認してしまいます。

阿古屋ヶ庵の場

近松門左衛門 作
出世景清 二段目より

会場

四谷ひろば講堂

（東京おもちゃ美術館1階）

〒160-0004

東京都新宿区四谷4-20

TEL 03-5367-9601

東京メトロ丸の内線

「四谷三丁目駅」

2番出口より徒歩5分

※駐車場はありません。

公共交通機関をご利用ください。



文弥人形とは？

「文弥人形」とは、佐渡島に伝わる国の重要無形民俗文化財のひとつです。江戸時代に始まる淨瑠璃の一派・文弥節にのせて演じられる人形芝居ですが、大正時代末期には後継者が減り、終戦後は絶滅の危機に。その後1970年代後半から島ぐるみで保存の取り組みが始まり、現在では島内には10座ほどの文弥人形のグループが活動を続けています。



野浦双葉座とは？

1979（昭和54）年、初代座長、白杵司（うすきつかさ）氏ら、8名の有志により発足。現在では20～30代の若手を含む11名が所属する、島内一の規模を誇る文弥人形の一座です。座員は『トキを育むお米』の生産者でもあり、半農半漁の暮らしのなか週1回の厳しい稽古に励み、地元はもとより全国各地で500回以上の公演を重ねています。



祝いの舞

春駒



お正月の門付けや祝いの席で、ユーモラスなせりふまわしや動きで魔を払い、福を祈つて舞われた伝統芸能。ユニークなお面や70年前から伝わる装束などにも注目！

今回の演目・あらすじ

このイベントは、以下の団体・企業にご賛同いただいています。

■生活協同組合 生活協同組合パルシステム東京、生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ、生活協同組合パルシステム千葉、生活協同組合パルシステム埼玉、生活協同組合パルシステム茨城、生活協同組合パルシステム山梨、生活協同組合パルシステム群馬、生活協同組合パルシステム福島、生活協同組合パルシステム静岡、パルシステム共済生活協同組合連合会、パルシステム生活協同組合連合会

■関連企業・団体 SBSゼンツウ株式会社、株式会社YUIDEA、株式会社ジーピーエス、協同組合JASMEQ、全農パールライス株式会社

■共催 認定NPO法人芸術と遊び創造協会、東京おもちゃ美術館

■主催 パルシステムよみがえれ！トキ文弥人形上演会実行委員会 事務局

【問い合わせ先】よみがえれ！トキ文弥人形上演会実行委員会 事務局
(パルシステム連合会 交流政策課) TEL 03-6233-7207

